平成 26 年度第 4 回定例会報告 Vol.15 新年号

福井みな子の市政報告

芦屋市議会議員

福井みな子

平成 26 年度第 4 回定例会では、報告 2 件、市長提出議案 23 件、請願 1 件の審査が行われました。採決の結果、議員提出議案以外のすべての議案が可決され 12 月 19 日（金）に閉会しました。また、議員提出議案として、議員定数削減を求める議案が提出されました。

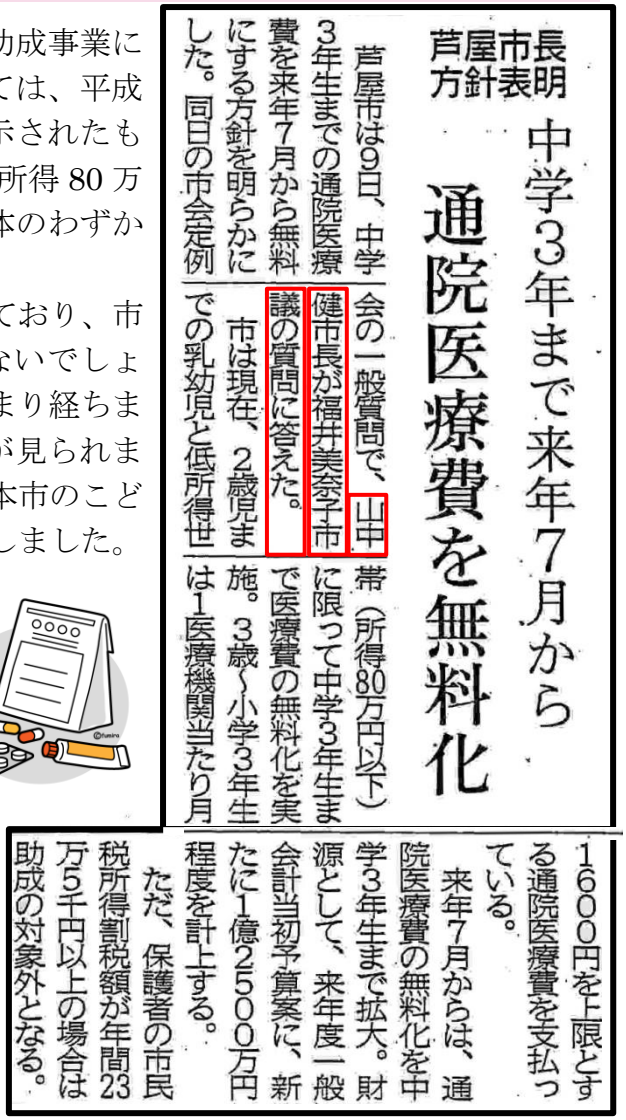
ようやく実現!! こども通院医療費無料化へ

～2015 年 7 月より中学校 3 年生まで～

任期最後となるこの度の一般質問では、こども医療費助成事業について取り上げました。現在、「通院医療費」については、平成 25 年 7 月に「3 歳から中学 3 年生まで助成拡大」が示されたものの「住民税非課税世帯で、保護者 1 人当たりの年間所得 80 万円以下」という所得制限があるため、この対象児は全体のわずか 5%、約 600 人にとどまっています。

以前からこの課題については多くの議員が質問を重ねており、市民の皆様も期待を寄せて来られたテーマの一つではないでしょうか。私も過去に一般質問で取り上げ、その後 3 年あまり経ちますが、この間、「通院医療費」に関しては大きな進展が見られません。そこで再度、阪神間他市と比較して遅れている本市のこども通院医療費の無料化について、今後の方向性を質問しました。

(答弁) これまで、市民の皆様や議員から数多くの要望を頂いている。2015 年 7 月に向け、中学校 3 年生までの「通院医療費」の無料化を検討していく。なお、中学 3 年生までの通院医療費の無料化を実施した場合の追加費用として年間約 1 億 2,500 万円の追加を見込んでいる。また、市民税所得割税額が年間 23 万 5 千円以上の場合は助成の対象外になる。



芦屋市長明方針表

中学3年まで来年7月から

通院医療費を無料化

芦屋市は9日、中学3年生までの通院医療費を来年7月から無料にする方針を明らかにした。同日の市会定例会の一般質問で、山中健市長が福井美奈子市議の質問に答えた。

市は現在、2歳児までの乳幼児と低所得世帯（所得80万円以下）に限って中学3年生まで医療費の無料化を実施。3歳～小学3年生は1医療機関当たり月1600円を上限とする通院医療費を支払っている。

来年7月からは、通院医療費の無料化を中学3年生まで拡大。財源として、来年度一般会計当初予算案に、新たに1億2500万円程度を計上する。

ただ、保護者の市民税所得割税額が年間23万5千円以上の場合は助成の対象外となる。

平成 26 年 12 月 10 日神戸新聞より抜粋

♡ 私の考え ♡

芦屋の未来を担う子どもたちは、皆、芦屋の宝です。子どもたちの健やかな成長を願い、安心して医療が受けられるよう通院医療費助成を実現させることは、子育て世代を励ますことにつながり、子育て支援が大きく一歩前進したと言えるでしょう。ここに至るまで、時間は要しましたが、この度の市の決断を評価します。

福井みな子の一般質問

本会議で行う一般質問とは、議員が市民要望を交えながら、40 分の質問時間内に市長や教育長に質問や政策提言を行う事です。私はこの任期中のすべての議会において質問を続け、山積する課題の解決に向け、改善策を提案して参りました。その結果、今まで触れられなかったことをも前進させるなど、数多くの実績を築くことができました。今回はオモテ面に掲載しました「こども医療費助成事業について」と「交通安全対策について」の２つの課題について取り上げました。

自転車保険の義務化について

全国の交通事故の発生数は昨年の 1 年間で 60 万件以上。その内、自転車関連の交通事故割合は全体の 20%（12 万件）を占め、相手別の調査データを見ると、自転車対自動車の事故は減少しているものの、自転車対歩行者の事故件数は増加傾向にあります。近年の対歩行者の事故では、高額の損害賠償を命じる判決が出た例もあり、自転車保険の必要性に改めて関心が高まっています。こうした背景から、兵庫県は今後自転車の購入者に自転車保険の加入を義務付ける条例案を来年 2 月の県議会に提出することを表明しました。
自転車保険加入の義務化については全国初の試みとなりますが、兵庫県の取り組みをうけ、芦屋市として今後の対応策があるのかを伺います。

（答弁）
県の自転車保険義務化に関する条例が制定された際には、県条例の趣旨が生かされる様、自治会や学校を始め、市内の自転車販売店にも協力を求めて加入促進の広報・啓発に努めていく。

♡ 私の考え ♡

環境負荷の低減や健康増進にもつながる便利で身近な乗り物として、自転車は近年利用者が増加していますが、事故も多発し、社会問題化しつつあります。私たちは「自転車は車両である」という本来の認識を再確認すべきではないでしょうか。また、事故で被害を受けた人が経済的負担を軽減するためにも、保険の普及は重要であると考えます。加えて、利用者に一定の負担を求めるだけではなく、環境整備など事故対策に向け行政にも一層の努力が必要になるのではないでしょうか。今後の県の条例案を注視していきたいと思います。

NEWS！

＜芦屋市議会の議員定数＞ 議員定数の削減について協議中

本会議 5 日目の 12 月 11 日、あしや未来の会、公明党、無所属議員 2 名より、議員定数を 22 名から 21 名に削減する条例改正案が提案されました。その理由は議会改革の一環と社会情勢によるものです。
1 月に議案審査の為の参考人として学識経験者及び市民を招致し、意見を伺う予定になっており、継続審議となりました。

＜市営住宅等大規模集約事業計画＞ 芦屋グラウンド用地を購入

市政報告春号、夏号でもお伝えしましたが、市営住宅の老朽化に伴い、建て替えコストを抑える目的で、市内 5 か所の市営住宅（朝日ケ丘町・翠ケ丘町・南宮町・浜町・西蔵町）と 1 か所の県公社住宅（朝日ケ丘町）が移転集約されます。12 月議会では、高浜町の芦屋学園グランドを約 36 億円で購入する議案が提出、可決されました。
また、県企業庁から取得した陽光町 8 番 1 の土地を芦屋学園グラウンド用地の代替用地として約 24 億円で処分する議案が可決されました。
この集約化事業では消防署高浜分署や福祉施設を併設する予定となっています。

編 集 後 記

▼皆様お健やかに新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。早いもので阪神淡路大震災より 20 年が経ち、1 月は各地で追悼行事が催されます。また、任期も残すところ半年です。最後まで市民の皆様のお声をしっかりと議会に届けて参ります。

▼昨年は大規模な自然災害に見舞われました。平成 27 年は、その干支にちなみ、羊のように穏やかな年になりますよう祈っております。　　福井　みな子

福井みな子プロフィール

1962 年生まれ。茨城キリスト教短大卒業。東京海上火災保険株式会社、日本航空株式会社勤務の後、外資系航空会社および㈱ＪＡＬエクスプレスに客室乗務員として勤務。ホスピタリティツーリズム専門学校大阪講師を経て、平成 23 年芦屋市議会議員初当選。
平成25年度建設公営企業常任委員長、議会改革特別委員会委員。

芦屋市議会議員（あしや未来の会）
福井みな子　市政報告 No.15 平成 27 年 1 月発行
〈芦屋市議会〉芦屋市精道町 7-6　TEL：(0797) 38－2001
〈事務所〉TEL＆FAX　34-0240
http://www.fukui-minako.com
E-MAIL：fukui.minako@gmail.com